

きいて! みて! TRY!

4月〜7月

TRY 令和7年度「福祉就職フェア」

参加無料

福井県福祉人材センター、嶺南福祉人材バンク無料職業紹介所では、福祉施設等の魅力や採用の情報等を直接、求人担当者より取りがける「福祉就職フェア」を開催します。

福祉の仕事に就きたいと考えている方、福祉の仕事に興味はあるけど、まずは福祉の仕事の内容を知りたい方など、福祉の仕事に興味のある方ならどなたでも、参加自由(無料)です。皆様のこまめなご来場をお待ちしております。

【嶺南会場】「ふくい福祉就職フェア」

【日時】令和7年6月14日(土)13:00〜15:40

- ①13:00〜「オンライン職場見学会」
②14:00〜「職場説明・面談会」

【会場】敦賀市福祉総合センター「あいあいプラザ」
(敦賀市東洋町4-1) 1階あいあいホール他

《お問合せ先》
嶺南福祉人材バンク無料職業紹介所 Tel.0770-52-7833

【嶺南会場】



【嶺北会場】「ふくい福祉・保育就職フェア」

【日時】令和7年7月5日(土)12:30〜15:30

- ①12:30〜「オンライン職場見学会」
②13:30〜「職場説明・面談会」

【会場】福井県生活学習館(福井市下六条町14-1)
1階多目的ホール他

《お問合せ先》
福井県福祉人材センター Tel.0776-28-3180

【嶺北会場】



【参加予定事業所】

福井県内で社会福祉施設(事業所)を運営している法人等
嶺南会場15事業所(予定)、嶺北会場80事業所(予定)

※どちらの会場ともオンラインでも参加できます。

TRY 令和7年度助成事業のご案内

ただいま募集中!

◎まごころ基金助成事業

県内の地域福祉の推進を目的に、民間のボランティア団体等が実施する自発的な事業活動に対して助成を通じた支援を行います。

【助成額】1団体につき20万円以内
【申込締切】5月30日(金)〈当日消印有効〉



◎子ども未来支援事業 子ども食堂等への助成

様々な事情により欠食や孤食などの状況にある子どもたちが食事をしたり、宿題をしたり、遊んだり、他の子どもや地域の人々と交流する場である「子ども食堂」の開設にかかる経費の一部を助成することで、子どもたちが安心して過ごせる地域の居場所づくりの推進を図ります。

【助成額】1団体につき20万円以内
※9月末まで随時受け付けており、申請いただいたから1ヶ月程度で決定します。

※詳しくは、ホームページをご覧ください。
※要綱・申請様式等をダウンロードしてください。



《お問合せ先》
総務企画課 総務部門 Tel.0776-24-2339

きいて ふむふむいっぱいラジカフェ

「ふむふむいっぱい ラジカフェ」は、全国で活躍する著名人、福井で頑張っている人、さまざまな知見を持つ専門家など、多彩なゲストが登場し、楽しいトークを繰り広げる番組です。一杯のコーヒーを楽しむ時間に、「ふむふむいっぱい ラジカフェ」を聞きませんか?

FBCラジオ

(嶺北AM864kHz/FM94.6MHz・嶺南FM93.6MHz)

毎週日曜日7:30〜8:00放送(毎週土曜日17:15〜17:45再放送)

※これまでの放送はFBCホームページからも

お聞きいただけます!

詳細は、二次元コード先のホームページをご覧ください。



【FBCラジオ】【FBCラジオ】

放送日	テーマ	ゲスト
4月6日	バレーボールに打ち込んだ 本場の理由とは	福井工業大学 スポーツ健康科学部教授 バレーボール男子元日本代表監督 中垣内 祐一氏 (なかがうち ゆういち)
4月13日	努力が結果に結びつかなくても… 得られるもの	本願寺文化興隆財団 東山浄苑 東本願寺 総務部 部長 田井野 章浩氏 (たいの あきひろ)
4月20日	蓮如さんと日本経済の精神	医師 作家 福井県立大学客員教授 海堂 尊氏 (かいどう たける)
4月27日	福井県の幸福度と蓮如さんの関係	福井商業高等学校 チャリティー部「JETS」顧問・教諭 五十嵐 裕子氏 (いがらし ゆうこ)
5月4日	挫折知らずの作家スタート	
5月11日	新作『闇医縁』には福井の偉人も	
5月18日	全米大会優勝の秘密は 『言葉』にあった	
5月25日	「いつだって人は変わる」 〜著書に込めた想い〜	

【リスナー登録】

随時、リスナー登録を受け付けています。登録料は無料です。ご登録いただくと、番組オリジナルグッズをプレゼントするほか、番組にメッセージをお寄せいただいた方の中から、毎月抽選で2名の方に素敵なプレゼントを準備しています。

【リスナー登録】



【メッセージ】

住所、氏名、年齢、電話番号を明記のうえ、郵送、メールにてお送りください。二次元コード先のフォームからもご登録等いただけます!

【メッセージ】

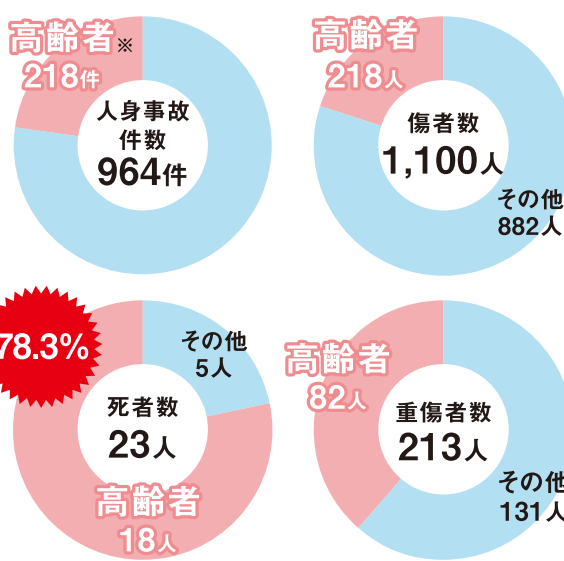


《お問合せ・申込先》 福井県すこやか長寿センター
〒910-8516 福井市光陽2丁目3-22 福井県社会福祉協議会 地域福祉課内
Tel.0776-24-2433 Fax.0776-24-0041 Eメール:sukoyaka@f-shakyo.or.jp



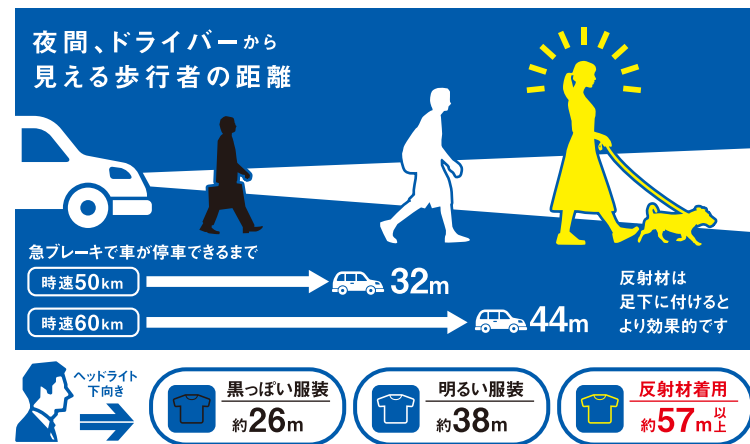
福井県防災安全部県民安全課
交通安全・県民安全グループ 主任
小西 出 佳徳氏

◎福井県の交通事故発生状況
(令和6年中)

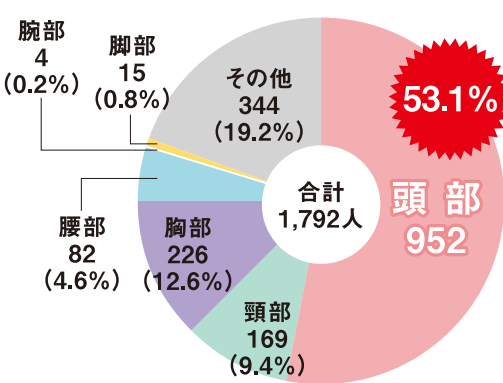


県内で発生した交通事故では、高齢者の死者や重傷者数の割合が多いのが特徴。また、令和7年4月20日現在、県内の交通事故死者数は8人(うち6人が高齢者)で前年同期比+2人と増加傾向にあるほか、夜間高齢歩行者がはねられる交通死亡事故が連続で発生している危険な状況となっている

※高齢者(65歳以上)が交通事故により死傷した件数
参考/福井県警ホームページ



◎自転車乗用中死者の人身損傷主部位
致命傷の部位(令和2年〜令和6年合計)



※その他とは、顔部・腹部をいう
参考/警察庁ホームページ

県では市町と警察と連携し、歩行環境シミュレーターや反射材の効果確認など、高齢者を対象とした参加体験型の交通安全教室を推進しています。こちらにもぜひご参加ください。

令和6年中の交通死亡事故では高齢者の割合が78.3%と高く、中でも高齢交通弱者が全体の約4割に上っています。また、高齢交通弱者の死者10人のうち7人が歩行者で、すべて道路横断中の事故であることも大きな特徴です。

過去5年間、全国で自動車と歩行者が衝突した死亡事故でみて、約7割が道路横断時に発生し、さらにその6割が横断歩道以外の場所を横断中に発生しています。道路を渡る時は横断歩道を利用する、斜め横断をしない、特に横断の後半は左から来る車に注意するなど、道路横断中の事故に十分気を付けましょう。県では、横断歩道の手前に手上げ横断を促す路面シートを表示するなどの「横断歩道de歩行者ファースト」キャンペーンを実施し、横断歩道付近での注意を呼びかけています。

県でも日常的に身に付けてやすい反射材用品を直接配布するなど、反射材の着用を呼びかけています。靴に貼る付ける反射シールは県民安全課にも置いてありますので、お気軽にご相談ください。

また、福井県では条例により、自転車利用者の自転車損害賠償責任保険等の加入が義務化されています。過去には自転車乗用中の小学生が歩行者と衝突し、歩行者が意識不明の重体となった事故で、9521万円の損害賠償を認めた裁判例もあります。平成25年7月4日神戸地裁。万が一の事故に備え、自転車に乗る際には自転車保険等の加入がされていることを確認してください。

知って情報



発行:(福)福井県社会福祉協議会

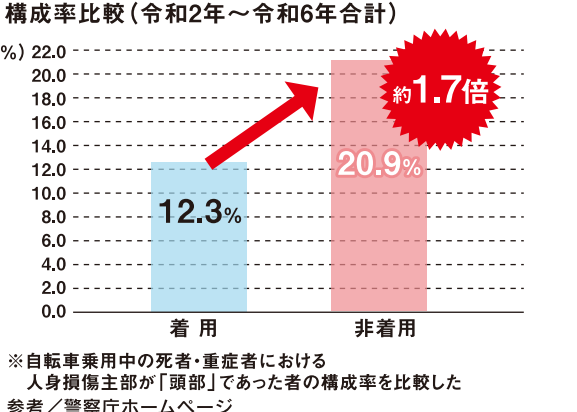
高齢者は道路横断中の交通事故に注意!
福井県では、昭和46年の年間175人をピークに交通事故による死者数は減少しており、令和6年は23人と過去2番目に少ない数字となっています。しかし、近年の交通死亡事故の特徴として、高齢者特に自転車や歩行者など、高齢交通弱者の犠牲者が多いことが挙げられます。

令和6年中の交通死亡事故では高齢者の割合が78.3%と高く、中でも高齢交通弱者が全体の約4割に上っています。また、高齢交通弱者の死者10人のうち7人が歩行者で、すべて道路横断中の事故であることも大きな特徴です。

自動車の速度によって急ブレーキで停車できる距離が異なり、時速50kmでおよそ32m、時速60kmで44m必要とされています(※車の性能や路面状況により異なる)。そうした中、夜間、ロービームの状態では走る車のドライバーから見えない歩行者の距離は思っばい服装で約26m、明るい服装で約38m、反射材を着用している場合は約57m以上と、明るい服装や反射材を身に着けることが夜間歩行者中の事故防止に有効です。



ヘルメットの形状もスタンダードなものからスポーツタイプ、帽子タイプと様々なものが発売されている



活動レポート

能楽の里・池田ならではの舞に挑戦

宗生流吟の舞 池田教室(池田町)

町内出身の指導者の方が舞う姿に感銘を受け、平成6年に結成。昨年30周年を迎えました。現在は75歳から83歳の5名が健康づくりと認知症予防もかねて、週1回楽しく練習に励んでいます。前回習ったところを忘れて…の繰り返しですが、気長に優しく熱心に教えて下さる先生のおかげで、年1回の大きな発表会には堂々と踊ることができています。また、町内の福祉施設や町の文化祭でも舞を披露するなど、元気に活動に取り組んでいます。



卓球バレーを通じてみんなで交流

福井県卓球バレー協会(福井市)

卓球バレーは、6人対6人のチームに分かれて卓球台の周りに置いた椅子に座り、板を使ってボールを転がし合い得点を競う、年齢や障がいの有無を問わず誰もが楽しめるユニバーサルスポーツです。福井県卓球バレー協会は、この競技の普及を目指して2015年に設立され、出前講座や体験会、大会の開催などを行っています。出前講座などで初めてこの競技に触れる方も多いのですが、すぐに慣れて仲間ワイワイ楽しくプレーしています。



「福悠人」の感想をお寄せください

今後のより良い紙面づくりに取り組むため、皆様からの感想を募集します。紙面をご覧になって気になることや、感想など、お気軽に送付してください。感想の送付は二次元コードを使います。お手持ちのスマートフォンなどで、二次元コードの読み取りにチャレンジし、感想を送ってませんか。

【手順】

- ① スマートフォンのカメラもしくは二次元コード読み取りアプリケーションを立ち上げます。
- ② 右記の二次元コードを読み取りましょう。
- ③ 質問に沿って順番に回答欄にチェックや、記入して進みます。
- ④ 感想はひと言でも結構です。感じたことなどを自由に記入してください。
- ⑤ 質問に回答後は、送信ボタンを押して、送信してください。



締め切り 令和7年5月16日(金) みなさんの感想をお待ちしております。
※お寄せいただいた情報や感想は本事業の運営以外の目的には使用しません

170号の感想をいただきました

何時も福悠人楽しみに見えています。川柳に挑戦の記事たのしくよみましたわたしにもできるかなー。川柳会に参加された方の声の欄があったのでとても参考になりました。(林 葉子さん/80代) 川柳がめにとまりました。言葉を選んで今の自分を確認できますね。(Y.みはさん/70代) 川柳をしたいと思っていたので喜んでます。教えてもらいたいです。地域の中で生き生きと生きている高齢者の姿を知りたい。(原 智津津さん/80代)

次号は2025年7月9日(水)に発行※予定

お問合せ:(福)福井県社会福祉協議会 地域福祉課

〒910-8516 福井市光陽2丁目3-22(福井県社会福祉センター内)

Tel.0776-24-2433 Fax.0776-24-0041

メール sukoyaka@f-shakyo.or.jp

ホームページ https://www.f-shakyo.or.jp/

